

令和5年(1月～12月)労働災害の発生状況

※労働者死傷病報告(休業4日以上)の死傷災害により作成
 ※()内の数値は死亡者数(内数)を表す

(1)業種別の労働災害発生状況(対前年比)

確定版

【表1 業種別の労働災害発生状況】

尼崎労働基準監督署

業 種	令和5年(1月～12月)		前 年 同 期		前 年 比 較		
	死傷者数 (人)	構成比 (%)	死傷者数 (人)	構成比 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)	
全 産 業	480 (1)	100.0% (100.0%)	892 (2)	100.0% (100.0%)	-412 (-1)	-46.2% (-50.0%)	
第一・二次産業計 (運輸交通業、貨物取扱業を 含む)	242 (1)	50.4% (100.0%)	282 (1)	31.6% (50.0%)	-40 ()	-14.2% ()	
製 造 業	107	22.3% ()	88	9.9% ()	19 ()	21.6% (-)	
鉱 業		()		()	()	-()	
建 設 業	30 (1)	6.3% (100.0%)	74 (1)	8.3% (50.0%)	-44 ()	-59.5% ()	
運 輸 交 通 業	76	15.8% ()	91	10.2% ()	-15 ()	-16.5% (-)	
貨 物 取 扱 業	18	3.8% ()	24	2.7% ()	-6 ()	-25.0% (-)	
農 林 業	5	1.0% ()	2	0.2% ()	3 ()	150.0% (-)	
畜 産 ・ 水 産 業	6	1.3% ()	3	0.3% ()	3 ()	100.0% (-)	
第三次産業計 (運輸交通業、貨物取扱業を 除く)	238	49.6% ()	610 (1)	68.4% (50.0%)	-372 (-1)	-61.0% (-100.0%)	
商 業	卸 売 業	5	1.0% ()	4	0.4% ()	1 ()	25.0% (-)
	小 売 業	57	11.9% ()	58	6.5% ()	-1 ()	-1.7% (-)
	上記以外の商業	13	2.7% ()	53	5.9% ()	-40 ()	-75.5% (-)
	計	75	15.6% ()	115	12.9% ()	-40 ()	-34.8% (-)
通 信 業	5	1.0% ()	7	0.8% ()	-2 ()	-28.6% (-)	
保 健 衛 生 業	医 療 保 健 業	21	4.4% ()	158	17.7% ()	-137 ()	-86.7% (-)
	社 会 福 祉 施 設	72	15.0% ()	229	25.7% ()	-157 ()	-68.6% (-)
	上記以外の保健衛生業		()	3	0.3% ()	-3 ()	-100.0% (-)
	計	93	19.4% ()	390	43.7% ()	-297 ()	-76.2% (-)
接 客 娯 楽 業	飲 食 店	14	2.9% ()	23	2.6% ()	-9 ()	-39.1% (-)
	ゴ ル フ 場		()		()	()	-()
	上記以外の接客娯楽業	2	0.4% ()	3	0.3% ()	-1 ()	-33.3% (-)
	計	16	3.3% ()	26	2.9% ()	-10 ()	-38.5% (-)
清 掃 ・ と 畜 業	ビルメンテナンス業	7	1.5% ()	12	1.3% ()	-5 ()	-41.7% (-)
	廃 棄 物 処 理 業	10	2.1% ()	10	1.1% ()	()	(-)
	上記以外の清掃・と畜業	6	1.3% ()	5	0.6% ()	1 ()	20.0% (-)
	計	23	4.8% ()	27	3.0% ()	-4 ()	-14.8% (-)
そ の 他 の 事 業	警 備 業	7	1.5% ()	3	0.3% ()	4 ()	133.3% (-)
	上記以外のその他の事業	14	2.9% ()	27 (1)	3.0% (50.0%)	-13 (-1)	-48.1% (-100.0%)
	計	21	4.4% ()	30 (1)	3.4% (50.0%)	-9 (-1)	-30.0% (-100.0%)
金 融 広 告 業		()	7	0.8% ()	-7 ()	-100.0% (-)	
映 画 演 劇 業		()	1	0.1% ()	-1 ()	-100.0% (-)	
教 育 研 究 業	5	1.0% ()	7	0.8% ()	-2 ()	-28.6% (-)	
官 公 署		()		()	()	-()	
(陸 上 貨 物 運 送 業)	73	15.2%	97	10.9%	-24 ()	-24.7% (-)	

注 一 〇 第三産業は通常、非工業的業種に運輸交通業、通信業、保健衛生業、接客娯楽業、清掃・と畜業、その他の事業、金融広告業、映画演劇業、教育研究業、官公署)を第三産業と呼んでいます。